

令和六年度 京都府公立高等学校入学者選抜
前期選抜学力検査

国語

解答上の注意

- 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 問題は、この冊子の中の1～6ページにあります。
- 答案用紙には、受付番号を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 答案用紙の答の欄に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある【答の番号】と、答案用紙の【答の番号】とが一致するように注意しなさい。
- 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の答の欄の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。
- 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 木曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………答の番号【1】

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なもの
のを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。

……………答の番号【2】
(ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 次の(ア)～(オ)のうち、奇数をすべて選べ。……………答の番号【3】

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号
(2)	(1)	—	番号
【3】	【2】	【1】	答の番号
(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	ア イ ウ	金 曜日	答の欄
【3】	【2】	【1】	採点欄

共通学力検査					
国語					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点					

この部分は著作権の関係により掲載しておりません。

【下】

この部分は著作権の関係により掲載しておりません。

(湯川秀樹「湯川秀樹自選集 第一巻 学問と人生」による)

注

- * 厩大…広がって大きくなるさま。 * 背馳…背き離れること。
- * 定立…ある判断や主張を法則として定めること。
- * 如何とも…どうにも。 * 上記…前に記してあること。
- * 遠心的…中心から遠ざかるさま。

(1) 本文中の「しばしば受ける」は、二つの文節に区切ることができる。この文節どうしの関係として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) 修飾・被修飾の関係
- (イ) 補助の関係
- (ウ) 主・述の関係
- (エ) 並立の関係

【1】 答の番号

(2) 本文中の「見る」の活用の種類として最も適当なものを、次のI群(ア)～(ウ)から一つ選べ。また、「見る」と同じ活用の種類である動詞を、後のII群(カ)～(サ)からすべて選べ。

- I群 (ア) 五段活用 (イ) 上一段活用 (ウ) 下一段活用

- II群 (カ) 座る (キ) 詰める (ク) 借りる (ケ) 徹する (コ) 報いる (サ) 結わえる

【2】 答の番号

(3) 本文中の「」に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

- (ア) 具体性を帯びた内容へと焦点化される
- (イ) 一人の人の個人的体験であると確認される
- (ウ) 自己の体験が自分の中だけで忠実に再現される
- (エ) 広い意味での事実はまだ客観化される

【3】 答の番号

(4) 本文中の「伴って」と「貢献」の漢字の部分の読みをそれぞれ平仮名で書け。

【4】 答の番号

(5) 本文中の「貴重」の熟語の構成を説明したものとして最も適当なものを、次のI群(ア)～(エ)から一つ選べ。また、「貴重」と同じ構成の熟語を、後のII群(カ)～(ケ)から一つ選べ。

【5】 答の番号

I群 (ア) 上の漢字と下の漢字が似た意味を持っている。

(イ) 上の漢字と下の漢字の意味が対になっている。

(ウ) 上の漢字が下の漢字を修飾している。

(エ) 下の漢字が上の漢字の目的や対象を表している。

- II群 (カ) 辛勝 (キ) 抜群 (ク) 郷里 (ケ) 出没

(6) 本文に書かれている内容と一致している文として適当なものを、下段の(ア)～(オ)から二つ選べ。

【6】 答の番号

(ア) 科学は有用な知識を蓄積してきたため、すべての問題は解決できるようになったと現在の科学者たちは考えている。

(イ) 科学といわれるものは、人間の多様な活動の中のある部分が、ある方向に発展してきたことよって成立した。

(ウ) 科学に対する明確な定義づけが難しいのは、大多数の人が漠然とした科学の限界を予想しているからである。

(エ) 事実を抽象化していく過程で抜け落ちてしまうものが、科学的知識を豊富にさせ、科学の正確さを生み出した。

(オ) 科学が哲学や宗教に置き換わることはできないが、それらに大きな影響を与えることはあると考えられる。

(7) 次の会話文は、亜実さんと修一さんが本文を学習した後、本文について話し合ったものの一部である。これを読み、後の問い①～③に答えよ。

亜実 本文では、「科学には限界があるかどうか」ということについて言及されていたね。

修一 そうだね。A についてはどこまでも拡大していくことが予測され、限界を見出すことができない可能性がある」と述べられていたね。

亜実 うん。でも科学にはできないこともあるんだよね。できないこともあるけれど、「多くの大切なもの」と本文で表現されている、個人的体験に内包されているB ことを反省することで、人類の進歩に科学はますます寄与することができる」とも述べられていたね。

修一 だからこそ科学の限界と呼ぶべきその宿命が、C になる可能性があるんだね。

① 会話文中のA に入る最も適当な表現を、本文中から十字で抜き出して書け。 【7】 答の番号

② 会話文中のB に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、二十五字以上、三十五字以内で書け。 【8】 答の番号

下書き用

③ 会話文中のC に入る最も適当な表現を、本文中から十六字で抜き出し、初めと終わりの三字を書け。 【9】 答の番号

【裏へつづく】

この部分は著作権の関係により掲載していません。

二
次の文章を読み、問い(1)～(7)に答えよ。(19点)
(1)～(6)は、各段落の番号を示したものである。

【へっしつろく】

この部分は著作権の関係により掲載していません。

注

* さきに…本文より前の部分。本文は文章の途中から引用している。

* しかからば…そうであるならば。

* どうせどこかもっと適切なところで…本文より後の文章で、本文で論じた内容について再び言及し、考察を深めている箇所がある。

* 認識論…認識の起源・構造・妥当性・限界などを論じる学問。

* 先験的…経験に先立ち、経験から得られたのではない生まれつきのものであるさま。

(1) 本文中の 愉快な こと について、本文では、どのようなことが愉快だと述べられているか。最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。

(ア) 他と異なったものが生じる原因が、世界じゅうのものを見れば判明すること。

(イ) 他と切り離された特異なものばかりが、世界じゅうで見つかること。

(ウ) 他とどこか似た部分をもつものが、この世界のどこにも見当たらないこと。

(エ) あるものに似た他のものが、この世界のどこかにならず存在していること。

(2) 本文中の 起因 について、本文では、なにはなにに起因していると述べられているか。最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。

(ア) この世界がいろいろなもので構成されていることは、この世界のものがそれぞれ偶然の結果発生したという過程をもつこと。

(イ) この世界がいろいろなもので構成されていることは、単数的存在と複数的存在がなんらかの関係で結びついていたこと。

(ウ) この世界のものが複数的存在で構成されていることは、この世界のものはもとは一つのものから分かれていったこと。

(エ) この世界のものが複数的存在で構成されていることは、一つのものに占有されたある空間を他のものが占有できないこと。

(今西錦司「今西錦司 生物レベルでの思考」による)

【10】 答の番号

【11】 答の番号

(3) 本文中の に の品詞として最も適当なものを、次の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、に と同じ意味・用法で に が用いられているものを、後の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。 …… 答の番号 【12】

I 群 (ア) 副詞 (イ) 形容動詞 (ウ) 助動詞 (エ) 助詞

II 群 (カ) 向かい風が吹いていたのに、走り幅跳びで新記録が出た。

(キ) 着替えが終わったら、運動場に集合しよう。

(ク) 寒い日が続いているけれど、元気に過ごしている。

(ケ) ゆっくり作業を進めているので、まだ完成しそうにない。

(4) 本文中の □ には、□ の前に述べられていることと、後に述べられていることとの間で、どのような働きをする語が入るか。最も適当なものを、次の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、本文中の □ に入る語として最も適当なものを、後の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。 …… 答の番号 【13】

I 群 (ア) 後に述べられていることが、前に述べられていることの付け加えであることを表す働きをする語。

(イ) 後に述べられていることが、前に述べられていることは逆の内容であることを表す働きをする語。

(ウ) 後に述べられていることが、前に述べられていることの対比であることを表す働きをする語。

(エ) 後に述べられていることが、前に述べられていることとは別の話題であることを表す働きをする語。

II 群 (カ) または (キ) そして (ク) ところで (ケ) ところが

(5) 本文中の 根 テイ の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。 …… 答の番号 【14】

【裏へつづく】

この部分は著作権の関係により掲載していません。

三

次の文章は、「花月草紙」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い(1)～(4)に答えよ。(12点)

〔新譚花月草紙關の秋風〕による……一部表記の変更がある)

注

- *感ぜしむる…感動させる。
- *太子うごかすべき…世継ぎを替えようとする。
- *わたくしの…自分勝手な。
- *周勃…高祖の臣下。
- *えうなき…役に立たない。
- *漢の高祖…中国の漢の初代皇帝。
- *うけがひ給はず…承知なさらなかった。
- *心まどひ…心が迷うこと。
- *いとど…いっそう。

(1) 本文中の **いふは** をすべて現代仮名遣いに直して、平仮名で書け。また、次の(ア)～(エ)のうち、波線部(~~~~)が現代仮名遣いで書いた場合と同じ書き表し方であるものを一つ選べ。……………答の番号【19】

- (ア) 祈りけるこそをかしけれ……………(イ) 奥へぞ入りにける
- (ウ) わが身ものぐるほしや……………(エ) のたまひ明かす

(2) 本文中の **大ぞら** をもうごかしつべけれ の解釈として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………答の番号【20】

- (ア) 大空をも動かさうとは思わない
- (イ) 大空をも動かすことができるのだろうか
- (ウ) 大空をも動かさないといけない
- (エ) 大空をも動かすことができるだろう

(3) 本文中の **よからぬ事** とは、どのようなことを指しているのか、最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………答の番号【21】

- (ア) 高祖を諫めるような発言を人々がしたこと。
- (イ) 高祖の世継ぎを人々が受け入れなかったこと。
- (ウ) 高祖が世継ぎを変更しようとしていること。
- (エ) 高祖を納得させる話を人々ができなかったこと。

(4)

次の会話文は、真由さんと啓太さんが本文を学習した後、本文について話し合ったものの一節である。これを読み、後の問い①～③に答えよ。

真由 本文では、和歌以外のことにおいても通じる、感動をもたらすものについて述べられていたね。

啓太 それが本文全体の大きなテーマになっているんだね。

真由 筆者は、中国の古典が引用されている部分を踏まえて、実と花の話につなげているよ。中国の古典が引用されている部分において、周勃は **A** が読み取れるね。

啓太 そうだね。「実だにあらば、花はなくともありなんとはいはじ」という表現で本文はまとめられているけれど、「実さえあれば花はなくともよいとはいえない」という意味だったね。実と花はそれぞれ順に **B** のことを指していることがわかるね。

真由 実と花を **B** の **C** として用いて、他の事物を引き合いに出して表現することで本文をまとめているんだね。

啓太 そう考えると、中国の古典が引用されている部分において、**D** は実に対応していると解釈できるね。

① 会話文中の **A** に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………答の番号【22】

- (ア) 高祖に対して命令を受け入れないという意志を伝えた
- (イ) 高祖に対して心を迷わせるような問いかけをした
- (ウ) 人々に対して高祖を惑わせることを言っはいけないと忠告した
- (エ) 人々に対して高祖が皆の意見を受け入れる気がないことを知らせた

② 会話文中の **B**・**C** に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、それぞれ三字以内で書け。……………答の番号【23】



③ 会話文中の **D** に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………答の番号【24】

- (ア) 周勃の態度……………(イ) 人々の発言
- (ウ) 高祖の態度……………(エ) 人々の態度

共通学力検査 国語 答案用紙

三						二									一										問題番号
(4)			(3)	(2)	(1)	(7)			(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(7)			(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	番号	
㊦	㊧	㊨				㊦	㊧	㊨							㊦	㊧	㊨						答の		
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の	
ア	B 3	ア	ア	ア		ア		ア	ア	根	ア	ア	ア	ア				ア	ア	c	ア	ア	ア	答 の 欄	
イ		イ	イ	イ		イ		イ	イ		イ	イ	イ	イ				イ	イ	っ	イ	イ	イ		
ウ	C 3	ウ	ウ	ウ	ア	ウ	10	ウ	ウ		ウ	ウ	ウ	ウ				ウ	ウ	て	ウ	ウ	ウ		
エ		エ	エ	エ	イ	エ		エ	エ		エ	エ	エ	エ				エ	エ	e	エ	エ	エ		
					ウ						カ	カ	カ	カ				カ	カ		カ	カ	カ		
					エ						キ	キ	キ	キ				キ	キ		キ	キ	キ		
											ク	ク	ク	ク				ク	ク		ク	ク	ク		
											ケ	ケ	ケ	ケ				ケ	ケ		ケ	ケ	ケ		
得点																								採 点 欄	

共通学力検査
国語
受付番号
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> </div>
得点
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> </div>

共通学力検査 国語 正答表

三						二								一										問題番号
(4)			(3)	(2)	(1)	(7)			(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(7)			(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	
㊦	㊧	㊨				㊦	㊧	㊨							㊦	㊧	㊨							
【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の
㊦	㊦ 例 B 誠と詞 3	㊦			いうは	イ	相似と相異ということを認識 10 15	ウ	㊦	根	㊦	I ㊦	I ㊦		㊦	科学の 35 ゝろ長所	科学の適用される領域	イ	I ㊦	c ともな って		I イ	㊦	答
	㊦ 例 C たとえ 3		ウ		イ					底		II ㊦	II ㊦	ウ				オ	II ㊦	e こうけん		II ㊦	ク	欄
											完全解答	完全解答						完全解答	完全解答			完全解答		備考欄
2	2	2	2	2	(各1) 2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	(各1) 2	2	2	2	配点